

『夢の実現へつなげよう』これが、竜北中学校の教育の合言葉です。254名の生徒が、24名の教職員とともに元気に学んでいます。

学びの様子的一端をご紹介します。

第62回体育大会

本年度体育大会テーマ **拳に力を 瞳に闘志を 三色の新たな伝説を**

大会の一コマです。熱気に溢れ、感動的な一日でした。一体感が生まれ、更なる成長を確信しました。



▲堂々の入場



▲3年生による騎馬戦



▲どの団も懸命の応援!

『大会の華 創作ダンス』



▲黄団



▲赤団



▲青団

校内点描

これらの写真は、撮影のために並べた光景ではありません。普段の様子です。自転車をそろえる、靴をそろえる、スリッパをそろえる、すべてが習慣になっています。

～そろえる～



～浸る～

朝の読書と読み聞かせはよき伝統です。



▲「竜の子お話会」による読み聞かせ



▲生徒による読み聞かせ

～考える～

授業の一風景です。担任外の教師が道徳の授業を行います。



▲ローテーション道徳の様子

農業委員会だより



▲左から、清田一敏農業委員長、松岡昌晴さん、米崎広明さん、山田涼太さん、藤本一臣町長、前田竜飛さん、出口幸治さん、田嶋大寿さん、八代地域振興局農業普及・振興課永田課長

新規就農者を紹介します
氷川町では、今年8名の方が新規就農されました。

9月8日(水)に開催された新規就農者激励会で次の質問にお答えいただきました。

- Q1 作っている作物はなんですか?
Q2 就農しようと思ったきっかけはなんですか?
Q3 将来の目標を教えてください。

【松岡 昌晴さん(56)高塚】

- A1 露地野菜で、ツクネイモ、タケノコイモ及びサツマイモを約2a作っています。
A2 昨年の3月末に自己都合にて退職しました。親からもらった18aの畑があり、新たに農業を通して農業の自給率アップに貢献できるように、及び地域社会の発展にお役に立てるようになりたいです。
A3 現在の18aの畑を有効に利用して農作物をしっかりと栽培し、それをいかして、50aくらいの規模に拡大し、道の駅に常に出荷できる体制を整備していきたいと思っています。

【米崎 広明さん(34)西野津】

- A1 小麦 稲作(もち米)・露地野菜(キャベツ・カリフラワー・ブロッコリー)
A2 実家に帰ってきて自分の将来を考えて、自分の家は農家ではありませんが、氷川町は農業が盛んな町なので、就農し自分の力を試していきたいと思っています。
A3 独立を目指しています。

【前田 竜飛さん(18)中網道】

- A1 いちご・米
A2 家が農業をしていたから。
A3 規模拡大。

【出口 幸治さん(29)桜ヶ丘】

- A1 ナス
A2 仕事でビニールハウスの製作をしている中で農業に興味を持った。
A3 目標収量を設定し、達成すること。

【田嶋 大寿さん(31)高野道】

- A1 米・アスパラ
A2 自分で何かしたかった。
A3 サラリーマン時の収入を得る。

【吉井 隆一さん(64)高塚】

- A1 菜種・小麦・ゴボウ・ゴーヤ・落花生・いも等
A2 定年退職後、農業をやって、自分がどれくらいできるのかチャレンジしてみたかった。
A3 減農薬栽培した作物を、梅干しや菜種油等、自ら加工していきたい。

【山田 涼太さん(18)若洲】

- A1 キャベツ・米・麦
A2 長男として農家を継ごうと思ったから。
A3 今はまだ農業についての知識はほとんどありませんが、これからたくさん経験を積み、後継者として一杯頑張りたいと思います。